



学校教育目標
心ゆたかな子
考える子
たくましい子

川越市立広谷小学校 学校だより

笑顔かがやく 活力あふれる広谷小

令和6年2月1日(木)

やってみて学ぶ

校長 浅見 久江

先週、校庭で1年生がたこあげをしていました。朝から「今日はたこあげするの。楽しみ!」と話している子どももいました。たこあげがはじまると、こつをつかんで高く上げている子、一生懸命に走って何度もあげようと挑戦している子、ひもが絡まってしまい手こずっている子など様々でした。子供たちの様子を見て、「やってみることは大事だと思いました。もしかしたら、初めてのたこあげを経験した子供もいたかもしれません。やりながら試行錯誤して楽しむ活動は、子供たちにとって貴重な体験だったと思います。

1月23日(火)には、これまで本校で取り組んできた学校研究の発表会を行いました。川越市内や市外から100名を超える先生方が来校し、児童の学習の様子を参観しました。保護者の皆様には、下校時刻の変更等にご協力いただきありがとうございました。

本校では、特別活動を中心に、自ら考え自ら活動する力の育成に取り組んでいます。発表当日は、4つの学級が学級活動等の話合いの様子を公開しました。1年生は「おもい出すごろくをつくろう」、3年生は「配膳員さんに感しゃの気持ちを伝えよう」、6年生は「5年生に6年生として大切なことを伝えよう」、7・8組は「ありがとうの会をしよう」について、どんな内容にするか、どんな工夫をするかなどを話し合いました。

参観された多くの先生方から、友達の意見をよく聞いて、お互いの考えのよいところを認めながら話し合っている姿や、どうしたらよりよく決められるのか解決策を出し合って話し合う姿が素晴らしいとほめていただきました。また、相手を喜ばせたい、相手に気持ちを伝えたいという、子供たちの温かい気持ちにも感心されていました。広谷っ子のすてきな心と成長を多くの方に見ていただくよい機会となったことをうれしく思いました。

学級活動は、みんなで話し合っただけで決めたことを実行していきます。活動を通して子供たちは多くのことを学んでいます。今後も「やってみて学ぶ」を大事にしながら教育活動を進めていきたいと思っています。



命の授業

1月30日(火)に、4年生で「命の授業」を行いました。愛和病院の助産師さんが3名来校され、出産場面の実演から、命の誕生までの話、親の思いをつづった詩の朗読など、子供たちの心に響く命の話をしてくださいました。子供たちは、赤ちゃんの人形を抱く場面もあり、「かわいい」と笑顔になっていました。また、最後の詩の朗読場面では、涙を浮かべる子供もいました。今回のお話を通して、命の尊さを感じることができたのではないのでしょうか。自分の命や周りの人の命を大切にすること、子供たちに育ててほしいと思います。保護者の皆様にもご参観いただきありがとうございました。



小中授業交流会

1月18日(木)に、名細中学校と授業交流会を行いました。今回は名細中学校の先生方に本校の授業の様子を見ていただき、そのあと、協議会を設けました。今後も、小中学校の連携を充実し、子供たちの9年間の学びを高めるように取り組んでいきます。